

保存版

第15号

令和4年
3月1日発行

認知症情報誌

みんな笑顔



事務局 角田市地域包括支援センター(ウエルパークかくだ内)
〒981-1505 宮城県角田市角田字柳町35-1 ☎ 0224-61-1288

認知症サポーター養成講座の報告 サポーター数4,919人(令和3年12月末現在)



認知症の学習ができてよかった



認知症は聞いたことはあったけど、何かわからなかったから、今日よくわかったのよかったです。



講話やDVDなど身近なことの説明で分かりやすかった



・認知症サポーター養成講座の開催を受け付けています。各地区、団体、小中学校、PTA、会社の研修会等、お気軽にお申し込みください。オレンジリング、角田市オリジナルステッカーを配布しています。

申し込み先 角田市地域包括支援センター 0224-61-1288

開催日時	団体名	参加者	内容
6月16日(水)	ファミリーマート	従業員5名	講話、ビデオレター、DVD鑑賞
7月8日(水)	桜小学校	3年生28名 教員2名	講話、記憶のつぼ、紙芝居
9月8日(水)	角田中学校	2年生182名 教員6名	講話、ビデオレター、DVD鑑賞
9月27日(月)	北郷小学校	4年生22名 教員1名	講話、記憶のつぼ、紙芝居
11月18日(水)	北角田中学校	1年生66名 教員4名	講話、寸劇、ビデオレター、DVDD鑑賞
令和4年 1月26日(水)	金津中学校	1年生8名 教員1名	講話、ビデオレター、DVD鑑賞、グループワーク



優しく対応することで認知症状が和らぐこともあるとわかった。自分も相手も笑顔になる対応をしたい。

相手の気持ちに寄り添って優しい言葉でゆっくり話すのが大切とわかった。地域で認知症の方を見つけた時は自分から進んで助けていきたい。



記憶のつぼのお手伝いすごく楽しかった。認知症の人がいれば僕が助けてあげたいと思います。

「記憶のつぼ」とは？

記憶をつかさどる器官(海馬)の働きを「イソギンチャク」と「記憶のつぼ」にたとえたもの。

若いとき

正常な老化
(覚えるのに手間がかかる)

認知症
(覚えられない)

進行すると
(覚えていたことを忘れる)



● 大切な情報

● 関心のある情報

○ 無駄な情報

①イソギンチャクの手が活発に動き、大切な情報を選んで「記憶のつぼ」に入れます。

②一度に情報をつかまえていくと、「記憶のつぼ」に入れるのに時間がかかります。

③イソギンチャクの手が衰えてしまうため、新しいことが記憶できなくなります。

④「記憶のつぼ」の中に入れて覚えていた昔の記憶や大事な情報も消えていってしまいます。



認知症に関する Q&A ～運転免許編～

こんな困っていることが皆さんの周りにありませんか？



どこでぶつけたのか、車に細かい傷があちこちついています。危ないので車を運転しないように何回も注意していますが、大丈夫だと言って聞き入れません。



運転することが難しくなっていることを本人が自覚する必要があります。70歳以上の方は運転免許更新時に高齢者講習として自動車学校での技能講習や運転適性検査が行われ、更に75歳以上の方には認知機能検査があり、認知機能が低下しているおそれのある方には臨時適性検査または診断書の提出を求められます。



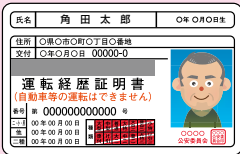
ドライブレコーダーを付けて自分の運転を見てもらうのも気づききっかけになるよね。



運転をしなくなることで外出する機会が減り、喪失感から閉じこもりやうつ状態になったり、認知症が進む可能性があるので、安心して外出できる機会を作り続けるといいですね。



運転しなくなった時には、警察署に免許証を自主返納すると「運転経歴証明書」がもらえます。阿武隈急行利用時に提示すれば運賃が割引になるし、65歳以上の方が自主返納後1年以内に市役所内防災安全課に申請すると1万5千円のデマンドタクシー利用券やタクシー乗車券等がもらえます。



ご本人の性格によって受け入れやすい言い方を家族で話し合うことが大切です。



自分も孫に「おじいちゃんの運転こわい」と言われて、初めて気づいて免許証の自主返納をしたよ。思い切って返納してよかったよ。



これまでの運転に対して、感謝やねぎらいの気持ちを伝えるのもいいわね。この前、運転卒業のお祝い会を開いたら喜んでくれたもの。

安全運転相談窓口
☎ #8080まで

認知症高齢者等見守りQRコード活用システムのお知らせ

高齢者等が外出して、地域の皆さんや警察などに保護された場合に、専用のQRコードシールを活用し、親族や支援者等に連絡できるシステムです。

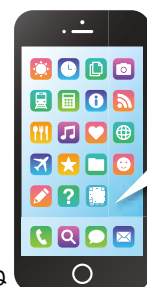
申請・問い合わせ

角田市地域包括支援センターへ

その方の持ち物に黄色いQRコードシールがついてるので携帯、スマホで読み込んでね！



QRコードの使い方のわからない方は、角田警察署の電話番号が書いてあるので連絡してね



QRコード読み込み

認知症初期集中支援チームのお知らせ

角田市では、これまでも認知症に関する相談を受けてきましたが、さらに早期に支援できるよう、市内全域を対象とした『認知症初期集中支援チーム』を地域包括支援センターに設置しています。

【認知症初期集中支援チームとは？】

認知症サポート医、保健師、社会福祉士などの専門職が、認知症の方やそのご家族に早期にかかわり、早期発見・早期対応できるよう支援を行うチームです。

【対象となる人は？】

40歳以上の市民の方で、自宅で生活をしており、認知症が疑われる方や認知症でお困りの方です。ご本人やご家族と今後の対応を一緒に考えます。必要に応じて医療や介護サービスに関する助言を行います。

【認知症初期集中支援チームのサポート】


こんなお悩みの時は是非地域包括支援センターに相談を！

- ①保健師や社会福祉士が訪問し、困りごとや心配なことを確認します。
- ②かかりつけ医や認知症サポート医と連携しながらご本人やご家族に合わせて支援します。


認知症の対応に困っている。

認知症の治療を中断してよくなっていない。

もしかして認知症かな？



おしゃべりカフェ便り



現在、40歳代から90歳代の方々がいらしています。楽しい思い出話などで会話が弾み、「週2回あっても良い」との感想を頂きます。予約は不要なので、ぜひお越しください。

日 時 毎週月曜日(祝日休み)
午後1時15分～午後2時45分まで

場 所 ウエルパーク内、機能回復訓練室(椿の湯)
※お話し相手のサポーターさんも随時募集しています。

角田市内・近隣市町の認知症に関する検査ができる主な医療機関

まずはかかりつけ医に相談しましょう。認知症に関する検査ができる医療機関や認知症疾患医療センターがあります。かかりつけ医の紹介状が必要なことがありますので事前に連絡の上、受診しましょう。

所在地	医療機関名	住 所	電話番号
角 田 市	仙南病院	角田市角田字牛館16	0224-63-2003
	金上病院	角田市角田字田町123	0224-63-1032
	名取医院	角田市角田字南61-1	0224-63-2347
大河原町	みやぎ県南中核病院	大河原町字西38-1	0224-51-5500
川 崎 町	川崎こころ病院 (もの忘れ外来)	川崎町大字川内字北川原72	0224-85-2333
柴 田 町	仙南中央病院	柴田町北船岡1丁目2-1	0224-54-1210
白 石 市	公立刈田総合病院	白石市福岡蔵本字下原沖36	0224-25-2145
	精神科病院 仙南サナトリウム+ (認知症疾患医療センター)	白石市大鷹沢三沢字中山74-10	0224-26-3101 (直通 0224-22-0266)
山 元 町	宮城病院	山元町高瀬字合戦原100	0223-37-1131
岩 沼 市	南浜中央病院 (認知症疾患医療センター)	岩沼市寺島字北新田111	0223-24-1861 (直通 0223-24-4101)
	総合南東北病院	岩沼市里の杜1-2-5	0223-23-3151

私の介護体験談

「父の発病」 角田市 O・Y

父がアルツハイマー型認知症だと診断されたのは平成21年のことです。

父がもしかしたら、アルツハイマーになるということは、父が発病する数年前にCT画像を撮っていた時に、母がお医者様から直接、「あ、これアルツハイマーになる頭だな」と言われたことで、予想はしていたそうです。

父が発病した当初は、認知症の症状はほとんどわからないと言ってもいいと思います。私と母がだんだんと認知症の症状に困り始めたのは、父が車の運転をしなくなり、よく車のバッテリーをあげてしまうことからでしょうか。それからだんだんと父は暴力的になりました。時計、眼鏡、ラジオ、ひげ剃りを父が自分で置いた場所を忘れると、家中を歩き回り、大声を張り上げるのです。被害妄想なのでしょう。私に「お前が隠したんだべ」と手をあげることもありました。自分の家に帰ると言い、母と外を歩き回ることもありました。認知症にはよくあることですが、ご飯を食べたのに、そのことを忘れて、「なんでオレにご飯を出さない」と毎日のように言うよ

うになりました。その状態の父をなだめることはなかなか大変でした。ちょっとしたお菓子を出してみたり、食器をそのままにしてみたこともありました。

平成25年のことだったと思います。母が朝食を作っているちょっとした隙に、父はひげ剃りをジャンパーのポケットに入れたまま、サンダルで歩いてどこまでも歩いて、一時行方不明になりました。母が心当たりの道を歩いて探しましたが、なかなか見つかりませんでした。しばらくして警察から電話がありました。親切な方が父を車に乗せて警察まで送り届けてくれたそうです。その方は名前も名乗らず帰って行かれたそうです。その方には今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

父は母と近所の方に病院に連れていかれ、そのまま即、入院となりました。入院してからの父は、それまでの行動が嘘のように、おとなしくなりました。体も細くなり、車いすでの生活になりました。平成30年1月に老健施設のお医者様から父の状態の説明を受けました。食が細くなり、弱ってきているとのことでした。延命治療の説明も受けました。私たち家族は、自然に最期を迎えさせてあげることになりました。そして父は、母を追いかけるようにして、平成30年の2月に亡くなりました。

手袋や 少年の日は 空近く

事務局からのお知らせ

事務局では、より良い情報誌になるように皆さまからの介護体験・ご本人からのメッセージをお待ちしております。角田市地域包括支援センター（ウエルパークかくだ内）

〒981-1505 宮城県角田市角田字柳町35-1
TEL 61-1288 FAX 63-3975
E-mail: tiikihokatsu@city.kakuda.lg.jp

編集後記

今もコロナの終息は見えにくいですが、この間に交流が制限されて認知症の方が増えることが心配されます。それで、年に一度の発行となった『みんな笑顔』ですが、より多くの方に読んでいただきたいという思いを込めて企画を工夫しました。これからも読者の皆様に役立ち、癒される情報誌となることを願っています。（武）

認知症・介護についての相談は
角田市地域包括支援センターへ

☎ 0224-61-1288



角田市総合保健福祉センター ●阿武隈急行角田駅より
ウエルパークかくだ 車で2分 徒歩5分

